

バリアフリー図書のごあんない



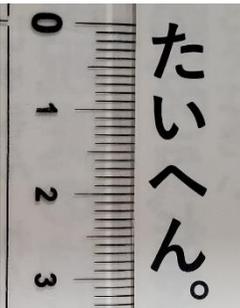
おはなしの^{へや}部屋のとなりに
「バリアフリー図書」があります。



てんじ しゅあ ほん
点字や手話の本のほかに、
おお もじ おお とりぶんこ
「大きな文字の青い鳥文庫」

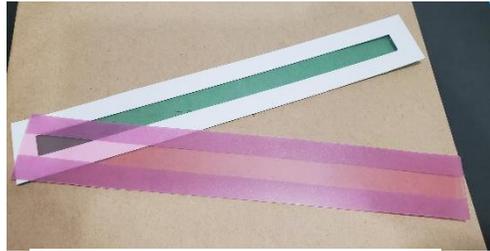
がおいてあります。

↓こんなに大きな字です！

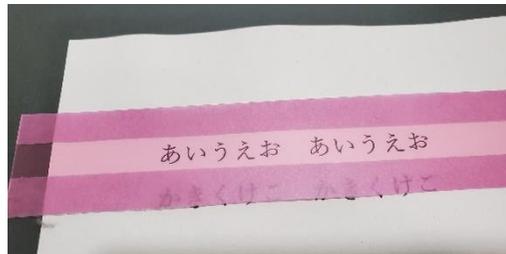


読みたい行に^{しゅうちゅう}集中して読める^{どくしょほじょうぐ}読書補助具の

リーディングトラッカーもあります。



↓こうやって使います。



としょかん
図書館は、本^よを読みたいひと
を応援します！

リーディングトラッカーも
ほしいひとは、児童カウンタ
ーまで来てくださいね！



おはなし会

2月17日(水) 11:00~ こどものじかんころころ

28日(日) 14:00~ こどものじかん

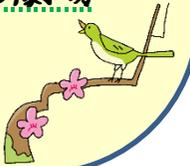
3月3日(水) 11:00~ えほんのせかい

ぎょうりよくこそだ
協力：子育てひろば

10日(水) 11:00~ おはなしのおむすび

いさはやげきじょう
協力：諫早子ども劇場

13日(土) 14:00~ こどものじかん



いさはやとしょかんじどうコーナーだより (Tel: 23-4946)



おすすめの本



『しあわせの牛乳』
ぎゅうにゅう
佐藤慧/著 安田奈津紀/写真
(ポプラ社)



岩手県の「なかほら牧場」では1年を通して山に牛を放牧しています。牛たちは山の草を食べ、自然に交配・分娩し、一年中山の自然のなかで自由に生活しています。そして子牛の飲み残した牛乳を搾乳し人間たちがいただきます。このような酪農の方法は「山地酪農」といわれ、自然の中でのびのびと育った牛たちの牛乳はとてもおいしく、その味は牛たちが幸せに育った証です。

牛も人も幸せでこそ酪農が成り立つと考える中洞さんのもとで育つ牛たちの牛乳はまさに！
“しあわせの牛乳”です。



みんなが給食で飲んでいる牛乳はどんな牛乳？身近なことから考えてみよう！
分からないことは図書館で調べてみてね♪



いさはやとしょかんじどうコーナーだより (Tel: 23-4946)

あたらしくはいった本



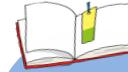
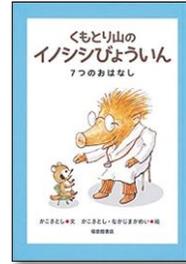
『町にきたヘラジカ』
フィル・ストング/作 クルト・ヴィーゼ/絵
瀬田貞二/訳 (徳間書店)



よみもの

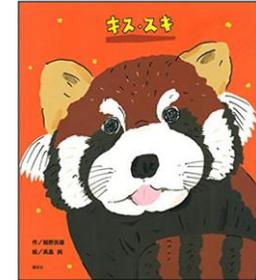
ある冬の日のこと、イバルが町に帰ってくると、とうさんのうまやにヘラジカが迷い込んでいて…。アメリカ北部の小さな町を舞台に、ヘラジカとなかよくなった子どもたちと、心やさしい大人たちの心あたたまる物語。

『くもとり山のイノシシびょういん - 7つのおはなし -』
かこさとし/文 かこさとし・なかじまかめい/絵
(福音館書店)



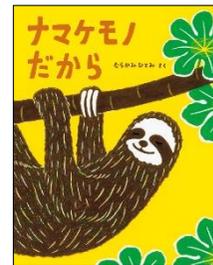
よみもの

『キス・スキ』
超野野民雄/作 高畠純/絵
(講談社)



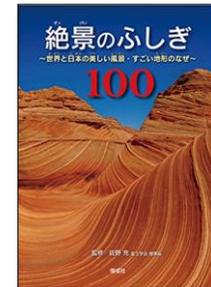
えほん
【人気作家絵本】

『ナマケモノだから』
むらかみひとみ/さく
(イマジネーション・プラス)



えほん

『絶景のふしぎ100
~世界と日本の美しい風景・すごい地形のなぜ~』
佐野統/監修
(偕成社)



しらべもの
【しらべもの5】

ほかにもたくさん入りました。新刊コーナーをみにきてくださいね♪

